

大磯の左義長 地域の伝統行事

生涯学習課
産業観光課
☎ 3323
334

12月3日
イチバンムスコ

1月10～12日
ミチキリ、
ナナトコマイリ、オカリコ

1月13日
セエトバレエ
18時30分頃 点火
19時00分頃 ヤンナゴッコ



▲お飯屋（オカリヤ）



イチバンムスコ

12月8日に近い土日に、子どもたちがゴロ石と呼ばれる真ん中がくびれた石を縄でしばって、家々をまわり「〇〇さんにいいお嫁さんがくるようにイチバンムスコ」などという玄関先で地面を打ち、頼まれた願いを唱えます。
※現在は、坂下・浜之町の2地区でのみ行われています。

ミチキリ

隣の地区との境の道に、ミチキリといって、中央に幣束を挿したしめ縄を張り、賽の目に切った大根を縄につけます。
※飾りは各地区で少しずつ違います。



ナナトコマイリ

坂下・浜之町・大泊・子の神・中宿・浅間・大北にある7か所の道祖神（現在は長者町を加えて8か所）を巡拝し、子どもの健康を祈願します。左義長までの3日間、子どもたちはオカリヤにこもり、遊んだりしながら過ごします。

MAPでチェック！

- ①坂下 ⑤中宿
 - ②浜之町 ⑥浅間
 - ③大泊 ⑦大北
 - ④子の神 ⑧長者町
- ②浜之町は13日までお飯屋があります。

大磯の左義長との出会い



大磯町左義長保存会
芦川博昭 会長

文化や風習、 楽しんで

サイトの周りにはにぎやかな正月飾りが。

※オカリコ
子どもたちが家を巡り家の繁栄や商売繁盛を願い、歌い踊る行事。



小学一年生くらいから、七草粥（1月7日）が終わると、近所の漁師さんにリヤカーを借りて上級生と一緒に正月飾りを集めに行きました。皆さん、左義長で燃やすっていうのは分かってきているので、お菓子なんかくれたりして。
中学生になったら、地域の大人のお手伝いをするようになりました。私は体が大きかったのので、道祖神をオカリヤに入れたり、戻したり、そういう役目を40年くらいやっています。

みどころ

ドンドヤキというのは、日本全国で行われているんです。「大磯の左義長」との違いはそこ

この地区まで縄を引くんです。私も今までに2回しか見たことがないので、今年は皆さんにも注目してもらいたいですね。

一時存続の危機に

実は、4年前に一度、もう続けるのは難しいと思ったことがあります。浜之町では、長老の方もおなくなり、少ない人たちでお祭りを維持するのは大変だという話になったんです。

ただ、私としては、50年近くのお祭りをやってきて、重い道祖神（※）をあちへやったりこっちへやったりしてきて。ふと、この道祖神さん、他の地域ではお祭りしているのに、ここで無くなるのは可哀相だなと思っただけです。このお祭りを続けていかないといけないなと。

みんなで支え合う

とにかく人が足りない。そんな時、左義長応援団が立ち上げられたんです。
同時に、隣の坂下や大泊の人たち、南下町の他の道祖神の人たちも、大変な時は手伝うからと。皆さん、「続けてくれよ、1個無くなったら寂しいじゃないか」と言うんです。
今は、皆さんの助けもあり、なんとか現在に至っています。

大磯の左義長が観光の目玉になったり、皆さんに注目されると、私たちもモチベーションが上がりますし、ギャラリイがいた方がお祭りも盛り上がる。ただ、そういったことはサポートがないと難しいと思っています。どんな方でも、お手伝いしてくださる方、歓迎します。
大磯の左義長は一般の方々には開放しているお祭りなので、他の地域の方も、町外の方も、ぜひ参加してください。火の粉をかぶりながら、みんな一生懸命やっています。

伝統を引き継ぐために

※道祖神
地域の境や中心に祀られ、災厄や悪霊の侵入を防いで子どもの成長や子孫繁栄などをもたらすといわれている。

【左義長での動き】
10～12日、社からオカリヤの中に移される。（ナナトコマイリ）
13日、海岸に移され、サイトの傍らに置かれる。その後、それぞれの社に戻されます。



▲道祖神

MAPで
チェック！



①～⑧オカリヤ ×ミチキリ
▲セエトバレエ

ヤンナゴッコ

サイトの火が燃え盛るころ、禪姿の青年10数人が、ソリを引いて海に入り、海方と陸方に分かれて綱引きが始まります。その後、伊勢音頭を歌いながら地区内を一巡してそれぞれの道祖神（セエノカミ）に宮入します。
※現在は、子の神・大北・長者町の3地区でのみ行われています。

